

米国労働市場の現状と課題

大和総研

ニューヨークリサーチセンター

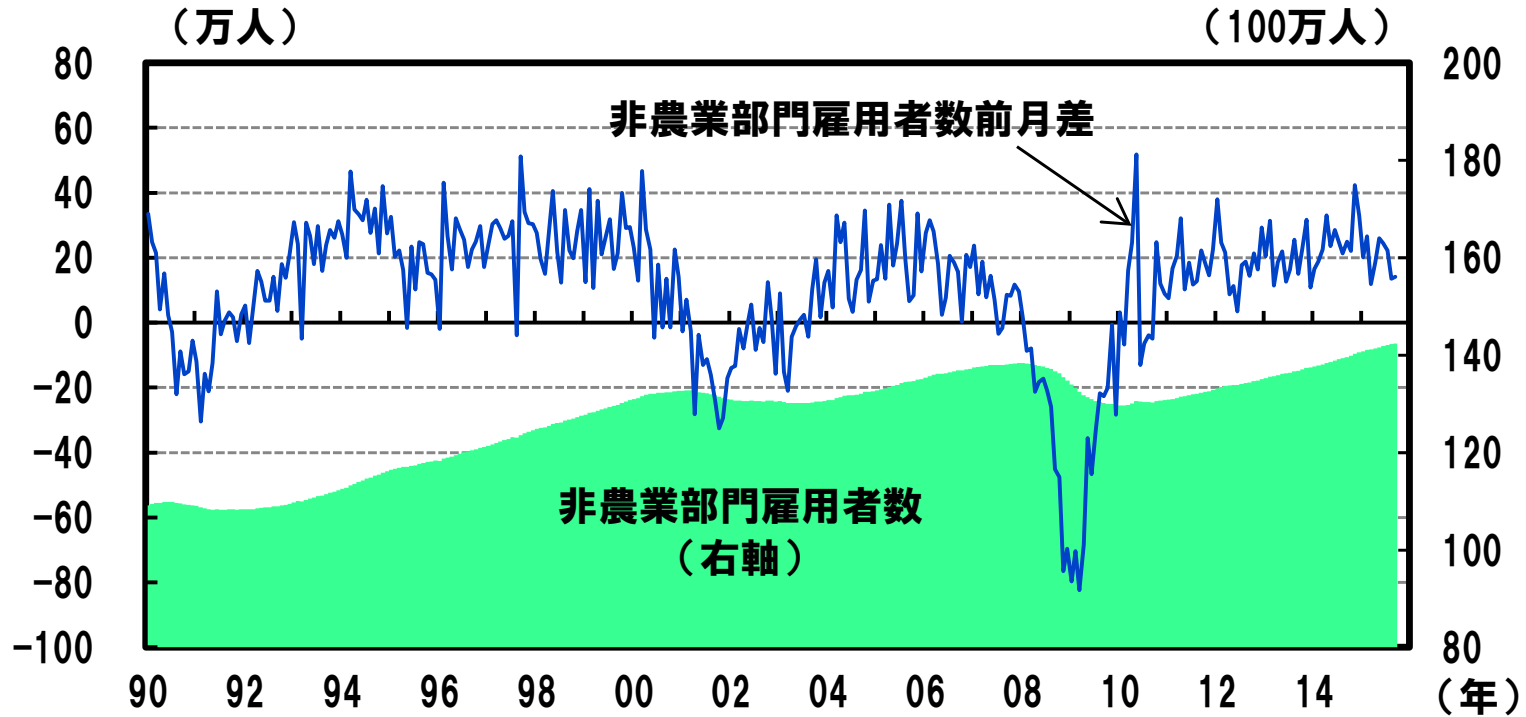
エコノミスト 橋本政彦

◆ 本日の内容 ◆

- 労働市場の現状
- 労働市場に残された課題
- 今後の見通し

◆ 雇用者数は着実に増加し、リーマン・ショック前の水準を回復

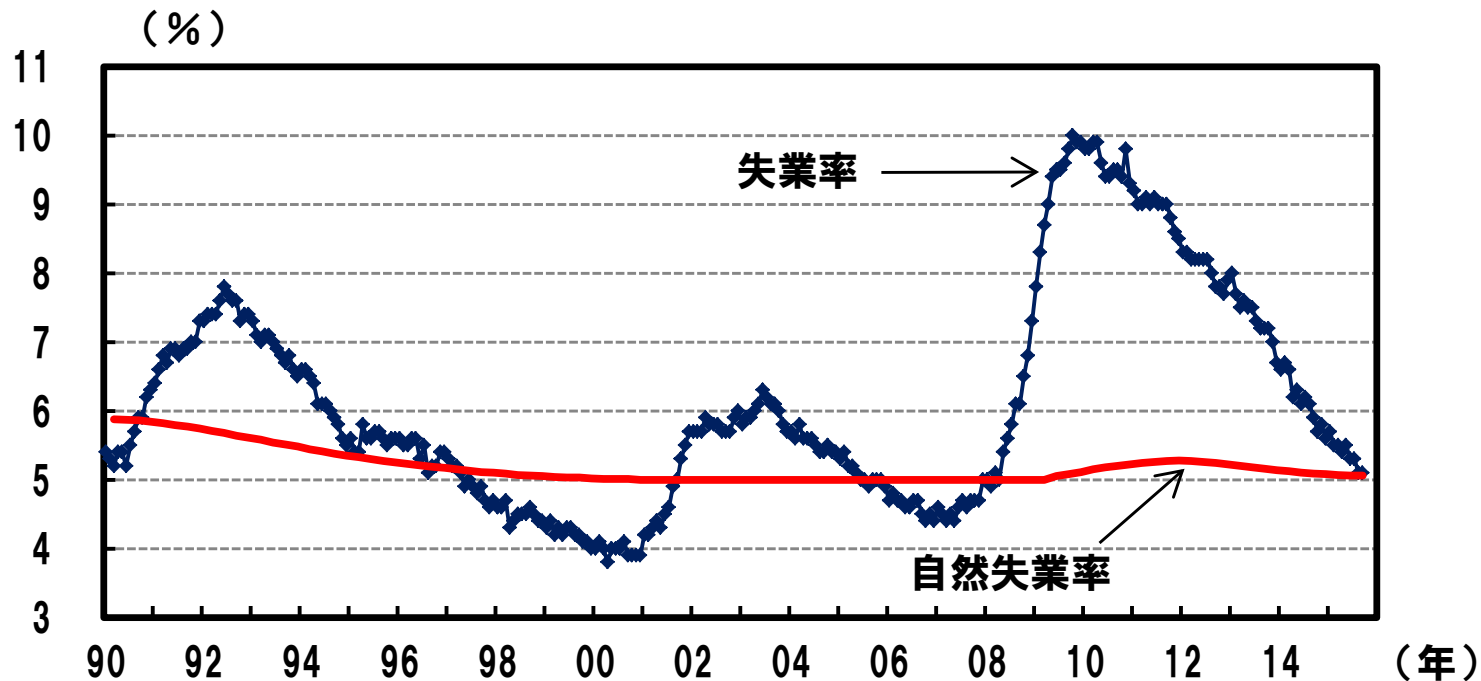
非農業部門雇用者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

◆ 失業率も低下傾向が続き、完全雇用に近い状態

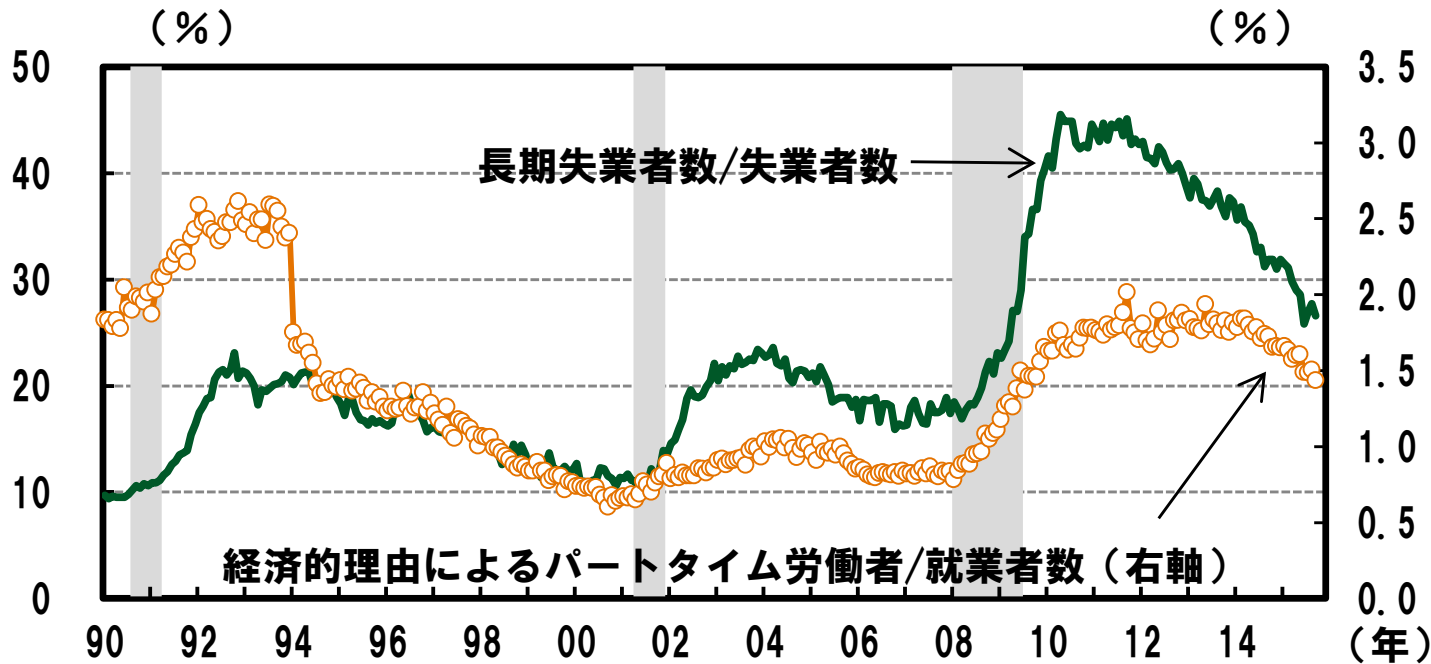
失業率と自然失業率



(出所)BLS, CBO, Haver Analyticsより大和総研作成

◆ 長期失業者、経済的理由によるパートタイム労働者は高止まり

長期失業者数と経済的理由によるパートタイム就業者

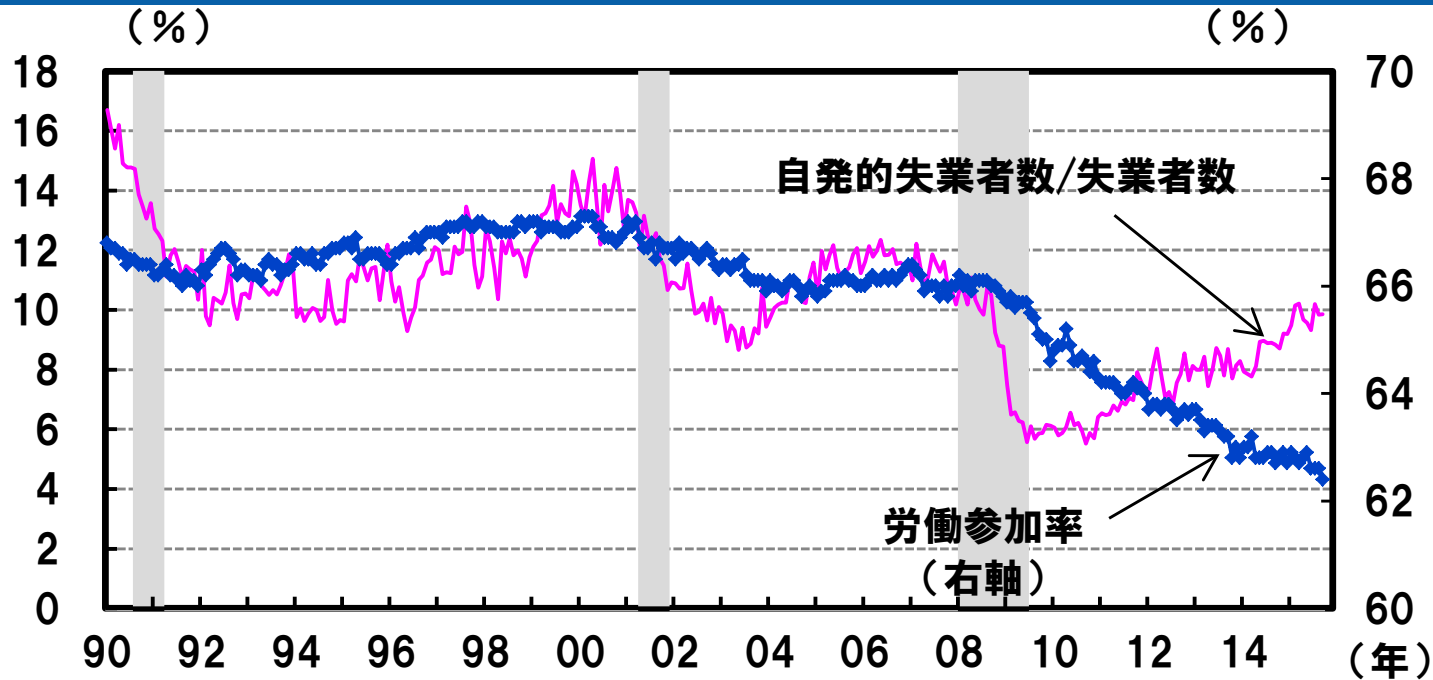


(注)シャドーは景気後退期。長期失業者は、失業期間27週以上の失業者。

(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

◆ 自発的失業は低水準、労働参加率は低下が続く

自発的失業者数と労働参加率

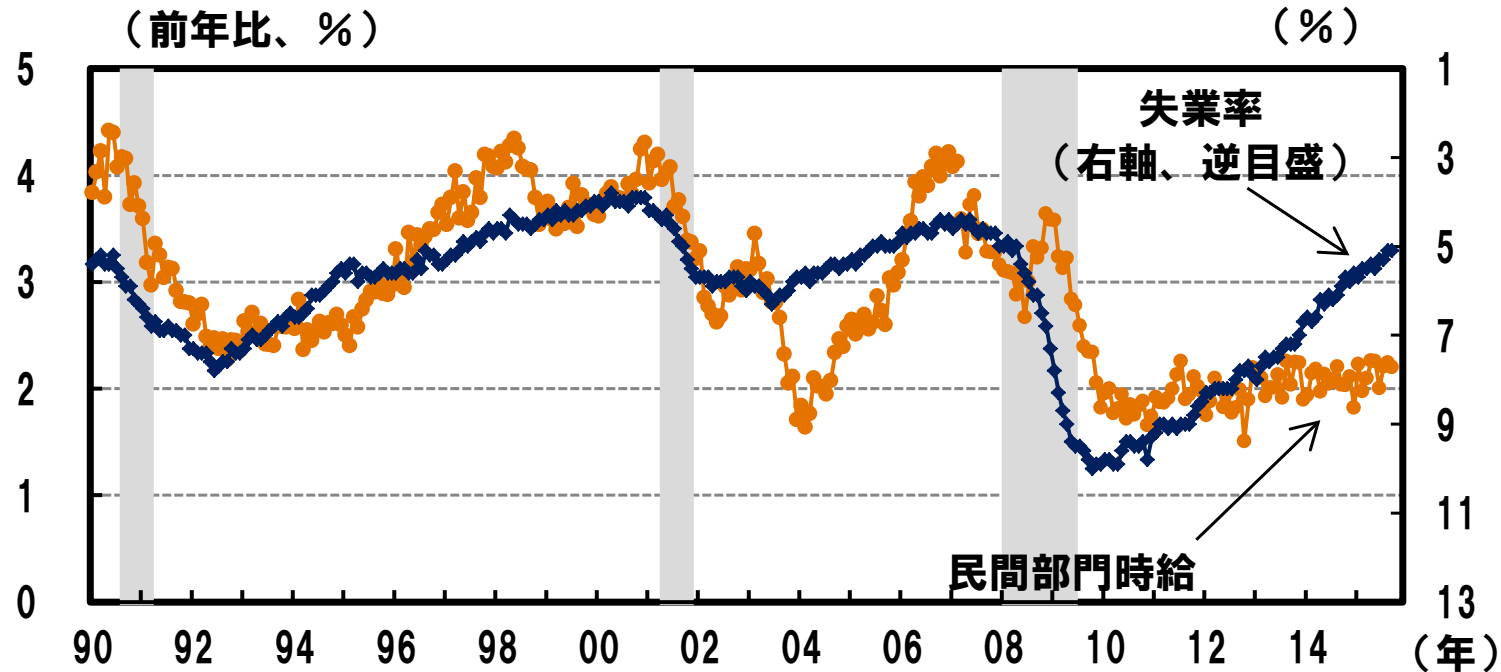


(注)シャドーは景気後退期。

(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

◆ 失業率が低下する中でも賃金は伸び悩み

民間部門の時給と失業率

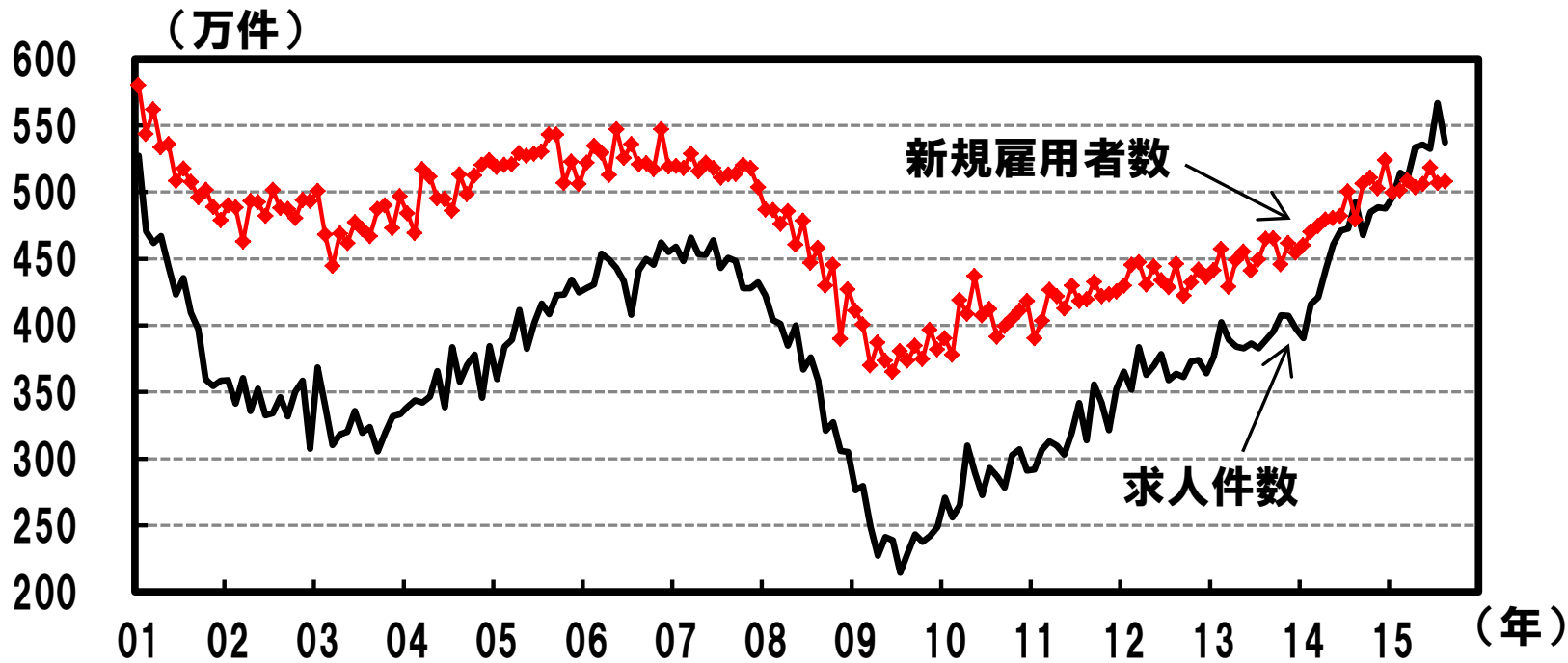


(注)シャドーは景気後退期。2007年2月以前の民間部門時給は、管理職を除くベース。

(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

◆ 増加基調が続く求人件数と、伸び悩む新規雇用

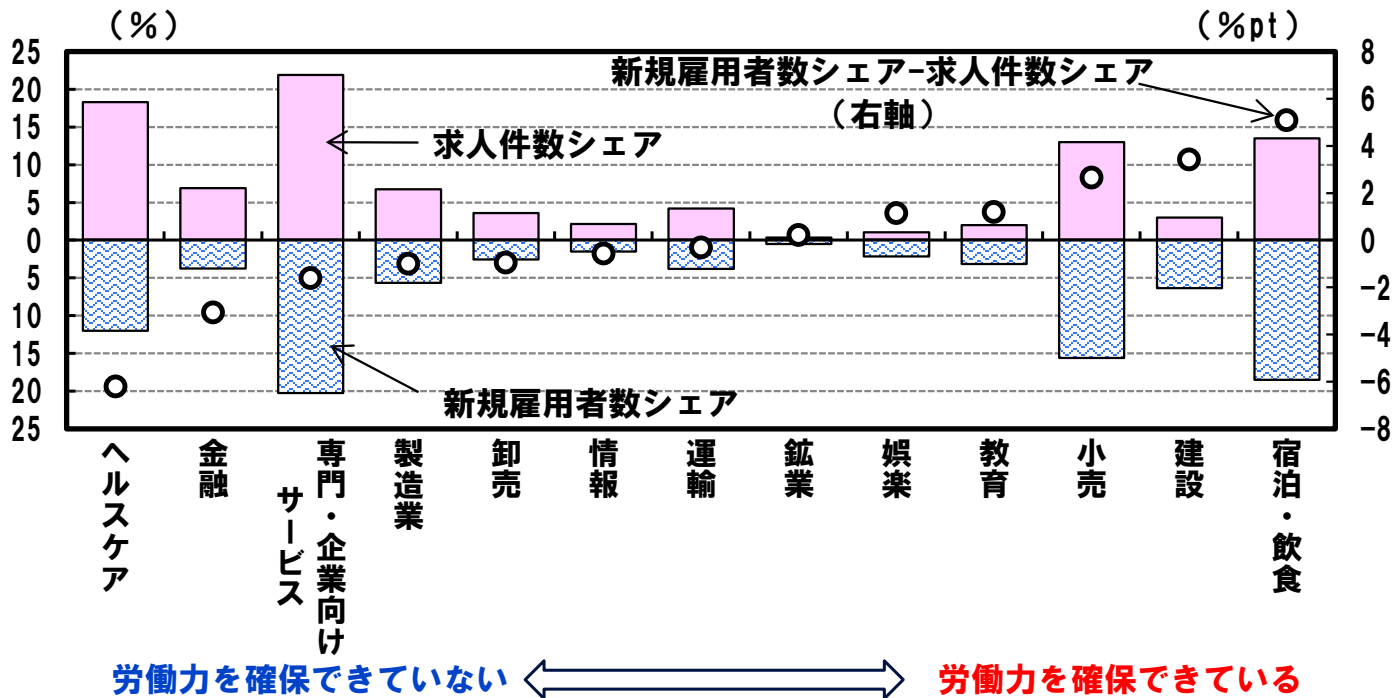
求人件数と新規雇用者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

◆ ヘルスケア、金融などでは労働力を確保しづらい

業種別にみた求人件数シェア、新規雇用者数シェア

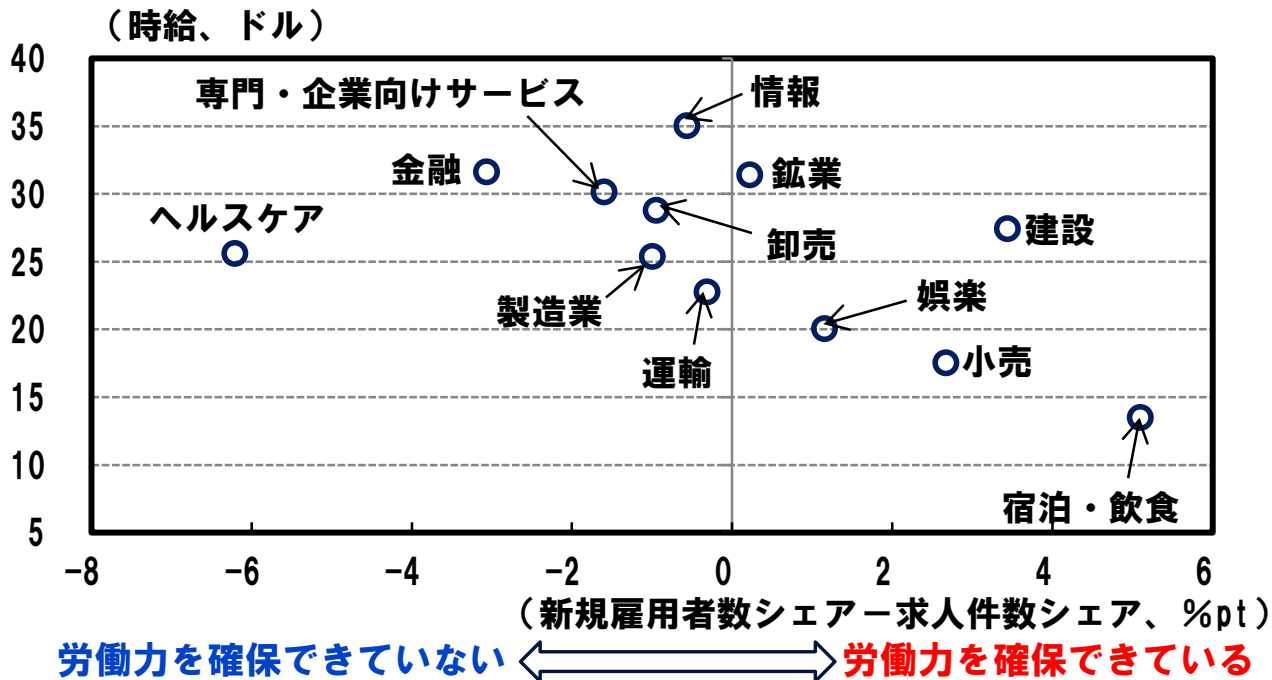


(注)データは2015年8月。

(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

◆ ハイスキル労働者で高まる賃金上昇圧力

業種別労働需給と賃金



(注)データは2015年8月。

(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

◆ 米国労働市場の現状と課題 ◆

- 現状

雇用者数は増加が続き、リーマン・ショック前を上回る
失業率は自然失業率に接近、完全雇用に近い状態

- 残された課題

賃金など、質の改善も進むが、もう一段の改善余地

- 今後の見通し

特にハイスキル労働者で高まる賃金圧力
一方、低賃金業種の雇用増が賃金上昇を抑制し、
賃金、物価は緩やかな増加が続く